

編集後記

今年も無事、愛知大学教職課程研究年報を発刊することができました。この1年間は教員の人事上の異動がない珍しい年でした。ただし教職の担当事務職員として名古屋に加藤剛志さん、豊橋に神谷幸子さんが就かれました。教職課程の再課程認定が終わり安心していましたが、文学部の学科再編に伴う課程認定が新たに始まり、その対応に追われております。また2019年10月1日より加藤潤先生から岡田圭二に教職課程センター所長および委員長が代わりました。それに伴い前原裕樹先生から加島大輔先生に副所長および副委員長が代わりました。加藤潤先生、前原裕樹先生、2年間ありがとうございました。

この一年間をふり返ると、大学入試における民間英語試験の導入の可否、国語および数学の記述式テストの導入に伴う混乱、また昨年度も書きましたようにブラック部活、長時間労働の問題が耳目を集めました。緩やかにではありますが、なんらかの解決の試みが行われ、多くの人達がそれに関心を寄せております。特に教員の労働時間に関して、給特法を改正し、変形労働時間制の導入がなされようとしています。それに伴う混乱や懸念の声が聞こえてくる所です。私たちが学生を送り出す学校という現場が、誰にとっても安心、安全、衛生的であり、学生と教員ともに人権が守られ、持続的な維持と発展ができる場であることを強く願います。

(岡田圭二)

愛知大学教職課程研究年報 第9号

2020年2月20日発行

編集・発行 『愛知大学教職課程研究年報』編集委員会

〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町四丁目60番6

(電話 052-564-6112)

印刷 株式会社 コームラ
